

薬経連

保険加入者の健康増進事業に薬局活用へ

6月から「保険者連携プログラム」初期段階稼働

保険薬局経営者連合会(薬経連・山村賢一会長)と系列シンクタンクの薬事政策研究所(薬研・田代健代表)は、今春から健康保険組合などの保険者と連携し、薬局を活用した保険加入者に対する健康支援プログラムに乗り出す。高齢社会の進展に伴う政府の社会保障政策を背景に、加入者への積極的な働きかけが求められている保険者と、地域における健康情報拠点機能の発揮を課題に抱える薬局を結びつけるのが狙いだ。既に大手健保と実施したモデル事業で一定の成果をあげ、複数の保険者から高い関心が寄せられているとの手応えを示すとともに、実施に当たっては日本薬局協働会から組織的な賛同を得ている模様で、薬局に新たな業務を生み出す手法として定着するかが注目される。

薬局の健康情報拠点化と健康寿命延伸ビジネス参画促す

保険者連携プログラムは、取組みに必要な研修は薬研を介して健保組合や協会けんぽ、国保が加入者に行う健康増進や予防に因る健康事業を受託し、登録する近隣地域の薬局を抽出して対応を要請。内容に応じた報酬を保険者から得るといふもので、具体的に医療費適正化のための情報提供や生活習慣病対策、健康増進に向けた啓蒙・相談、特定保健指導の窓口展開などを想定しており、医行為的な指導とは一線を画す上で薬局が普遍的に開く健康教室的な位置づけである。

薬局にとっては何らかの健康支援を必要とする生活者の紹介が受けられ、確実な形で地域の健康情報拠点活動に乗り出せることになる。登録料や年会費などは発生せず、取組みに必要な研修は薬研から提供されるほか、特定保健指導などに関わる部分ではヘルプデスクサポート事業を手掛ける総合医学研究所と提携し、保険者との連携しや管理栄養士・保健師の薬局への派遣にも対応する体制を整える。

一方、保険者は昨今の厳しい財政事情から、後発品の使用促進をはじめ、加入者に対するレセプトデータや健診状況に沿った傾向受診抑制や公的保険外の生活習慣病予防対策、健康増進などの働きかけ(テータヘルズ)が国からも強く求められる情勢にある。

事業化に際しては薬研と協力関係を結ぶ共和薬品工業事業戦略本部の坂本大介マーケティング戦略部長は、先ごろ都内で開いた

社会的要求に応える具体的な行動呼びかけ

事業展開には保険者から事業委託を得るプログラムとしての内容以前に、まずは幅広い地域に対応した登録薬局の基盤整備が前提となる。

薬研では6月から限定的に実績を積み重ねる初期段階で薬経連会員102社・300薬局と、現時点で組織的な対応を意思表示する日本薬局協働会の会員を中心に1000薬局程度の登録を見込んでおり、来年度に予定する本稼働までに全国で2500薬局の体制を目指す構えだ。

同事業と連動して薬経連では、昨年からは明治薬科大学と日本アプライド・セラピューティクス学会による研究プロジェクト科学研究費助成事業に参画し、地域の薬局が長期処方患者へ定期的な介入を図ることにより、服薬アドヒアランスの改善や副作用発見、処方変更などの効果を導く検証にも着手。薬研が開発中のシステムを通じ、服薬に伴う有害事象やレセプトデータを共有化し、医療の質的向上に向けた分析や応用を目指す事業とともに、薬局業務の具体的なエビデンス確立に向けた活動を積極的に進めている。

フォーラムで山村会長は次期報酬改定に向けて医薬分業の効果や薬局の報酬への風当たりが一層強まりつつある情勢について、「患者自身がメリットを実感できるように状況やエビデンスが足りていないことが本質的な問題」と強調し、パッシングや診療報酬に関わる圧力への対応ではなく、政府・国民に高まる要求に応えるための具体的な行動の必要性を訴えながら、「我々が業界のリーダーシップを取ってインベションの旗頭になる」との思いを込めて動き出したい」と、連った組織展開にかける意気込みを示した。

保険者連携プログラムのご案内

1. 登録(薬局側) → 2. 研修(薬局側) → 3. 実施(薬局側) → 4. 評価(薬局側)

薬研は、保険者の要望に対応した「健康増進事業」を行うことで、健康増進の効果を最大化し、加入者の健康寿命を延ばすことに貢献します。

● 登録料も研修料も発生しますが、それよりも、薬局が「地域の健康増進拠点」の地位を獲得するためのツールとして活用。

- Go注文(差額通知)
- 前払受診・多剤者対策
- 多剤受診者の情報連携
- 健診実施助成
- 腎臓疾患化予防
- 特定健診・特定保健指導

加入者(本人・家族)も

保険者連携プログラムとは

保険者(当初ターゲットは健保組合)の実施する保健事業に、薬局を活用してもらうというもの。

薬経連フォーラムでは健康相談・情報拠点の地位獲得に向けたツールとしての保険者連携プログラムのコンセプトが強調された